

小松小学校

令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育

【学校 目標】

○かしこい頭とやわらかい心を持つ子の育成

【現状と課題】

○視点1

(1) 相手を意識して書く力は伸びてきた。さらに、話してから書くことで自分の思いを「伝える力」を高めたい。

(2) 使うことには慣れている。授業の中で活用力をつけていきたい。

○視点2 真面目な子が多く、何事も最後までやり遂げようとするが、自ら進んで考え、判断し、行動する力が弱い。

○視点3 小規模校であるために学び合うことについて限界がある。学校運営協議会とも連携しつつ地域大学等との連携を進めている。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①校内研究の取り組みによる授業改善 ②一人一台端末を活用した授業づくり	①伝える力の育成やユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業ができたか。(月に1回程度)		
	②ねらいを持って実践する。(低学年は1週間に1回、中・高学年は1週間に3回以上)		
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①異年齢集団での活動の充実	①縦割り活動の充実(月に1回程度)		
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①コミュニティースクールの活用	①地域の素材を使ったり協力を得たりした授業づくりができた		
	(各学級1学期に1回程度)		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・4月の職員会議において、学力向上部会より学ぶ力向上策について説明し、具体的な内容について協議し共通理解する。また、学校だよりを通して、取り組みを保護者や地域に発信する。視点1については、研究主任、情報教育主任、視点2については、特別活動主任、視点3については、教頭が中心となって、組織的に実践につなげる。学年部会・学力向上部会・職員会議で取り組みの状況等を共有し、学校評価や、全国学力・学習調査等の調査における数値を基に、改善策について学力向上部会でまとめ、職員会議で共有し、後半の取り組みにつなげる。また、学校だよりで保護者や地域に発信する。6月・8月の研修で学力向上や校内研究の取り組みについて交流し、10月11月の公開授業研究会では、外部講師を招聘し、研究を深め、研究で深めた知見を他の授業でも生かす。1月に、校内研究会で成果と課題をまとめ、次年度へつなげる。

今年度の取組の成果と課題